

【技術文書を書く目的を認識しよう】

1. 技術文書を書く目的

技術文書を書く目的とは、技術文書の書き手からその読み手に内容を伝達することです。内容とは、書き手が読み手に伝達することです。例えば、仕事の成果、会議や打ち合わせで説明すること、提案や企画の内容、メールで伝達することなどです。書き手は、これらの内容を読み手に伝達するために技術文書を書きます。

2. 「内容が伝わる」と「内容が“明確に”伝わる」の違い

「伝達すること」とは「内容が“明確に”伝わること」で成立します。そこで、「内容が伝わる」と「内容が“明確に”伝わる」の違いを解説します。

以下の2つの文章を比べてください。

I：製品Aと製品Bと製品Cの比較の結果、製品Aを選んだ。3つの中で製品Aが最もよかったからだ。

II：製品Aと製品Bと製品Cの比較の結果、製品Aを選んだ。3つの中で、製品Aは形がシンプルで色も美しくかつ最も使いやすかったからだ。

Iの文章が、『内容が伝わる』文章です。書き手がAを選んだことは伝わります。つまり、内容は伝わります。しかし、Aを選んだ具体的な根拠が書いてありません。そのため、「何でAを選んだのだろうか」とこの内容に疑問を持つ人がいるかもしれません。Iのような文章では内容が明確に伝わりません。Iは、内容の伝達が成立しない文章です。

IIの文章が、『内容が“明確に”伝わる』文章です。書き手がAを選んだこととAを選んだ具体的な根拠が書いてあります。このような文章であれば、Aを選んだこと（内容）が“明確に”伝わります。IIは、内容の伝達が成立する文章です。

3. 「内容が“明確に”伝わる」ことで目的が達成できる

技術文書を書くことも同じです。「2.『内容が伝わる』と『内容が“明確に”伝わる』の違い」の解説からわかるように、読み手に内容が“明確に”伝わることで技術文書を書く目的（技術文書の書き手からその読み手に内容を伝達すること）が達成できます。

技術文書を書く目的が認識できれば、内容が明確に伝わる技術文書を書く必要性がわかります。

以 上